

介護保険システム等標準化検討会（第3回）

令和4年3月17日 【資料3】

# 介護保険システム等標準化検討会 （第3回）

## 検討・課題事項の対応概要について

令和4年3月17日

事務局提出資料

# 1. 検討課題事項(全体)

- 令和3年度上期全国照会の 3,857件の意見 に対して、継続検討事項は 73件となる。
- 令和3年度下期全国照会(帳票要件)の 2,219件の意見に対して、継続検討事項は 316件となる。
- 令和3年度下期全国照会(機能要件等)の 2,461件の意見に対して、継続検討事項は 139件となる。
- 検討・課題一覧(検討会・WT・ベンダ分科会での意見)の 103件に対して、継続検討事項は 18件となる。
- 全体として、令和3年度の意見及び検討課題事項の総数 8,640件に対して、令和4年度へ引き継ぐ検討課題事項は 546件となる。

		意見数	対応完了数	継続検討数	対応割合	継続検討割合
令和3年度上期 全国照会	上期検討分	<u>3,857</u>	1,862	1,995	98.1%	1.9%
	下期検討分	1,995	1,922	<u>73</u>		
令和3年度下期全国照会(帳票要件)		<u>2,219</u>	1,903	<u>316</u>	85.8%	14.2%
令和3年度下期全国照会(機能要件等)		<u>2,461</u>	2,322	<u>139</u>	91.9%	8.1%
検討・課題一覧		<u>103</u>	85	<u>18</u>	82.5%	17.5%
合計		<u>8,640</u>	8,094	<u>546</u>	93.0%	7.0%

## 2. 検討課題事項①(令和3年度上期全国照会の継続検討事項)

- 意見照会の意見に対して令和4年度以降の対応とした分(合計 73件)は、以下のとおりである。
- 機能要件・帳票要件に関する継続検討事項は 28件あり、例えばAI-OCRやRPAの利用等、検討に時間を要するものについて継続検討事項としている。
- データ要件・連携要件に関する継続検討事項は 43件あり、データ要件にて定める項目やコード値、他システムへのデータ提供に関するものであったため、第2グループにおける検討内容を踏まえて検討することとしている。

対応方針	介護保険共通 ・統計報告関連	資格認定 関連	受給者関連	給付関連	保険料関連	合計	
機能・帳票要件	9	1	7	5	6	28	38.4%
データ・連携要件	8	28	2	1	4	43	58.9%
その他	2	0	0	0	0	2	2.7%
合計	19	29	9	6	10	73	100%

### 3. 検討課題事項②(令和3年度下期全国照会(帳票要件)の継続検討事項)

- 意見照会の意見に対して令和4年度以降の対応とした分(合計 316件)は、以下のとおりである。
- 機能要件・帳票要件に関する継続検討事項は310件あり、WTやベンダ分科会での検討を要するものであった。  
 例1)性別欄を削除、又はシステム印字しないようにしてほしいとの意見  
 例2)圧着ハガキや連続帳票等の用紙サイズでの帳票レイアウトを認めてほしいとの意見
- データ要件・連携要件に関する継続検討事項は3件あり、全て、住民税システムとの連携要件や住民税システムとの用語統一に関するものであるため、データ要件・連携要件の内容を踏まえて検討することとしている。
- その他に関する継続検討事項も3件あり、標準化全般に対する意見で内容確認に時間を要するものであった。

対応方針	介護保険共通 ・統計報告関連	資格認定 関連	受給者関連	給付関連	保険料関連	合計	
機能・帳票要件	43	17	39	31	180	310	98.0%
データ・連携要件	3	0	0	0	0	3	1.0%
その他	3	0	0	0	0	3	1.0%
<b>合計</b>	<b>49</b>	<b>17</b>	<b>39</b>	<b>31</b>	<b>180</b>	<b>316</b>	<b>100%</b>

## 4. 検討課題事項③(令和3年度下期全国照会(機能要件等)の継続検討事項)

- 意見照会の意見に対して令和4年度以降の対応とした分(合計 139件)は、以下のとおりである。
- 機能要件・帳票要件に関する継続検討事項は101件あり、WTやベンダ分科会での検討を要するものであった。  
 例1)総合事業、認定審査会に関する機能を標準化範囲内にしてほしいとの意見  
 例2)AI-OCRやRPAの利用促進の観点から、バーコードや二次元コードを利用できるようにしてほしいとの意見
- データ要件・連携要件に関する継続検討事項は37件あり、住民記録情報との連携項目や独自施策項目の追加に関するものであるため、データ要件・連携要件の内容を踏まえて検討することとしている。
- その他に関する継続検討事項も1件あり、標準仕様の改定に関するご意見で時間を要するものであった。

対応方針	介護保険共通 ・統計報告関連	資格認定 関連	受給者関連	給付関連	保険料関連	合計	
機能・帳票要件	49	19	4	6	23	101	72.7%
データ・連携要件	3	28	2	0	4	37	26.6%
その他	1	0	0	0	0	1	0.7%
<b>合計</b>	<b>53</b>	<b>47</b>	<b>6</b>	<b>6</b>	<b>27</b>	<b>139</b>	<b>100%</b>

## 5. 検討課題事項④(検討・課題一覧)

○ 令和4年度上期に検討し、令和4年夏頃までに対応が見込める課題は 16件である。

例1)住民記録や住民税等の管理項目やそのコード内容の明示(データ要件で明示)

例2)総合事業の標準化範囲内外の取扱い

例3)帳票における性別欄の取扱い

○ 検討に時間を要する課題は2件である。

例1)地方自治体と事業者(医療機関、居宅支援事業所等)とのデータのやり取り

対応方針	介護保険共通 ・統計報告関連	資格認定 関連	受給者関連	給付関連	保険料関連	合計	
機能・帳票要件	5	1	0	0	0	6	33.3%
データ・連携要件	10	0	0	0	0	10	55.6%
その他	2	0	0	0	0	2	11.1%
合計	17	1	0	0	0	18	100%